様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 721201	広域行政事務負担事務	主管課名	企画政策課
この事務事業の位置	政策	市民と行政の協働による自立した自治体経営		
	施策	市民サービスを高める行政運営の推進	課長名	柴田圭一
	基本事業	行政サービスの連携		

(1)事業の概要

愛知県と矢作川流域の10市町で構成する（公財）矢作川水源基金において、植林など山の管理や河川の上下流の地域間交流などを進めることにより、きれいで安定した水を供給できる緑豊かな災害に強いまちづくりを行っている。
豊田市とみよし市で構成する豊田みよし広域計画策定協議会において、「豊田みよし地方拠点都市地域基本計画」の進行管理及び広域行政推進にあたっての調整を行っている。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	（公財）矢作川水源基金負担金支出額	千円
②	豊田みよし広域計画策定協議会負担金支出額	千円
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①(公財)矢作川水源基金において、水源地体験事業や地域交流事業などを実施し、事業費の１／３を構成市町の人口割で負担する割合に応じて負担金の支出を行った。 ②豊田みよし広域計画策定協議会の開催、及び協議会事務経費の人口割で負担する割合に応じて負担金の支出を行った。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①（公財）矢作川水源基金構成団体
②豊田みよし広域計画策定協議会構成団体

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	（公財）矢作川水源基金構成団体数	団体
②	豊田みよし広域計画策定協議会構成団体数	団体
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①矢作川の上下流域の地域間交流を進める。
②事務の広域化、共同化による効率的、効果的な行政施策を実施する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	（公財）矢作川水源基金事業数	事業
②	（公財）矢作川水源基金交流事業参加者数	人
③	豊田みよし広域連携事務数	事業

(4)結果(上位基本事業の意図)

圏域内の共通課題の取り組みや効率的な行政サービスを推進し、快適な住環境の整備を図る

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	行政サービスの連携数	事業
②	暮らしやすいと感じる市民の割合	%
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	千円	514	517	517	517	517	517
	②	千円	3	0	10	10	10	10
	③							
(6)の対象指標	①	団体	10	10	10	10	10	10
	②	団体	2	2	2	2	2	2
	③							
(7)の成果指標	①	事業	1	1	1	1	1	1
	②	人	38	50	50	50	50	50
	③	事業	10	10	10	10	10	10
(8)の結果の成果指標	①	事業	7	7	7	7	7	7
	②	%	88.8	88.4	90	90	90	90
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	02	項	01	目	02

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	517	517	617	527	527	527
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	517	517	617	527	527	527
人件費B		千円	340	334	334	334	334	334
	正職員従事時間×人数	時間×人	45 × 2	45 × 2	45 × 2	45 × 2	45 × 2	45 × 2
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	26					
トータルコストA+B+C		千円	883	851	951	861	861	861
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 団体	88	85	95	86	86	86
	②	千円/ 団体	442	426	476	431	431	431
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	721201	広域行政事務負担事務

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和５３年２月　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

①公益財団法人矢作川水源基金の設立に伴い、同基金の構成団体として加入したこと。
②平成２０年度に地方自治法に基づく協議会が設置され、広域計画の策定が必要となったこと。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

特になし

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	②地方拠点都市地域整備産業業務施設再設置促進に関する法律
			この事務を行う根拠又は理由	①矢作川水系における上下流の地域間交流を進めるため ②連携を図り、広域的な計画を策定推進を行う必要があるため
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	矢作川水源基金に対して市に裁量権はなく、豊田みよし広域計画策定協議会の連携事務は計画に定められているため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	↓ 減額	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						